

日本人のためのリーダーシップ： 長老からリーダーへ（1）

平成29年6月17日

NPO法人マイスターネット

リーダーシップ研究アカデミー

橋本壽之

リーダーシップの欠如要因とその実態

リーダーシップの欠如要因

- 場の共有(⇔資格の共有)
- 単一社会
- タテ社会(⇔ヨコ社会)
- 契約精神の欠如

実態

- 稟議制
- 老人大国
- リーダーと部下の関係

参考文献

1967、中根千枝著『タテ社会の人間関係 単一社会の理論』東京：(株)講談社

場の共有 pp.26-64

- 場の共有：日本
 - 地域、所属機関（資格の相違を問わない枠）、全生命の拠りどころ、一体感、感情的、集団の孤立
 - 寄合い、相談して決める
- 資格の共有：インド（中国、欧州）
 - 氏・素性、学歴・地位・職業、資本家・労働者、カースト、理性的、ネットワーク
 - 明確な規則に従い行動

単一社会pp.64-67

- 日本人は、1つの社会にしか所属できない。
 - 2つ以上に所属すると、道徳的な非難を受ける
 - 同時に2つ以上の場に自己を置くことは不可能
 - 保身術としては最低
- 中国人や欧米人は、2つ以上（時には相反する集団）に属し、時により優先度を変更
 - 中国人の頭では、機能が異なるものを同時に持つことは矛盾しない、当然のこと
 - 資格は複数持てる、ネットワークが構築できる

タテ社会

- 組織内の親分子分 : タテ社会 p.70
 - ↔ 組織を超えた同一資格者の集まり(西洋のクラブ・ユニオン) : ヨコ社会
 - 資格の差抑圧から、人は皆やればできる人間平等主義(無差別悪平等、理性より感情が主 ≠ 西欧の伝統的な民主主義) : 能力平等観 p.77、p.100
 - 生年、入社年、学歴年数で差別 : 序列

タテ社会の長所・短所

- 長所：緊急時p.128
 - リーダーから末端までの伝達速度が速い
 - 集団の意見統一がしやすい
 - 平等主義が刻苦勉励・上昇・格差の可動性を促すp.101
- 短所：平常時pp. 129-130
 - 集団の意思決定ができない(論理的プロセスないと)
 - 迅速な行動困難、集団行動力が弱い
 - 平等主義から派生するぬるま湯的道德：弱者には～すべきと口では言うが尽力しない言行不一致のエセ同情。左翼的言辞を弄する人々の大部分が特権的ムード派p.101
 - ヨコ関係が機能せず、孤立・セクショナリズム・分業回避

契約精神の欠如

- 政界等
 - 英米: 敵陣営でも実力者を抜擢(契約精神)
 - 日本: 仕事の達成より人間関係を重視
- 学術調査団の例
 - 西欧: 仕事に限れば団長命令は絶対的
 - 日本: 長老団長と愛弟子団員による和の重視、成果は二の次

稟議制

- トップダウンではなくボトムアップ pp.147-148
 - 下からの総意を活用する
 - 上司は、頭が切れるより、馬鹿がやりやすい(神輿を担ぐには軽くてパーが良い)
 - 上司には、能力よりも人間に対する理解力、包容力が求められる p.148

老人大国日本1

- リーダーは、その頂点にある人に限られる
 - どんなに能力があっても、頂点に位置しない限りリーダーにはなれない
- 頂点は、最も早くその集団に参加した人間である
 - 他国では一顧だにされない無能な年長者が、権威と称せられ脚光を浴びる
 - 能力の優れた若者、中年にとって誠に遺憾なメカニズムである p.153

老人大国日本2：曖昧な内部事情

- 他人分野への侵入が許容される（他国では厳しく制裁される）pp.153-154
 - リーダーは、序列を守り、信頼する部下には大幅な権限を授与
 - その部下は、リーダー、同僚、他部署の人間も自由に操縦
 - 怠けようと思えば、いくらでも怠けられるし、能無しも養う
 - 集団の実力は、リーダーより内部事情に依存

リーダーと部下の関係1

- リーダーの権限は極めて小さい
 - リーダーは 直属 幹部を通して全体を管理
 - 幹部の発言は極めて強く、部下の利益を代表、リーダーを突き上げる
pp. 138 -139
 - 直接的人間関係＝論理でなく情に依存：保護（依存）、温情（忠誠）、子分への思いやりは子分への理解が前提＝子分の希望を受入れp.139
 - リーダーは、幹部を操縦するのではなく引きずられる＝ディレクターシップに欠け、リーダーの権限は非常に小さいp.140
 - 身近な幹部に相談し、その助言で決断p.141
 - 部下に責任を負わされ、冷たく切捨てられるp.142
 - 真の民主主義とは異なる平等主義がはびこる p.146

リーダーと部下の関係2

- 強いてリーダーシップ発揮⇒強権発動p.143
 - 独断的な決定・権力の不当な行使
 - リーダーの能力・人格が高い時には成功、低いと悲劇
- 近代西欧の場合
 - リーダーと部下間にはルールがあり、どちらも一定以上の力を行使できないと同時に、一定の権力行使が許される